

事業実施報告書

団体名：特定非営利活動法人MiKOねっと

事業名：地域の子どもとつながる「おじいちゃんおばあちゃんの生きがい講座」

MiKO・マルシェ

1 事業の目的

MiKOねっとの事務所のある「みさと団地」は日本で二番目に大きなURの団地で少子高齢化が進み、一人暮らしの高齢者も多いです。団地に住む高齢者がいきいきと暮らせるために何が必要かと考えた時、高齢者の方々が集い、そこで目的を持って取り組める事業が必要だと思いました。そして、その事業の成果を持って、地域の子どもたちと交流し、子どもたちからも元気をもらい、生きがいが生まれると共に、地域の三世代・四世代交流が進み、地域の活性化につなげます。

- ① 第一の目的は、65歳以上の高齢者が集い交流し、お手玉・折り紙・コミュニケーションゲームなどで脳を活性化させ、健全な生活が送れるようにサポートします。手作り昼食を食べ、交流を深めます。
- ② 第二の目的は、高齢者が目的を持って取り組める事業として、絵本を拡大模写した「布芝居」を作成し、完成したら地域の保育園やつどいの広場などを訪問し、「布芝居」、その他コマ回し・皿回しなどで交流します。子どもたちに喜んでもらい、子どもたちからも元気をもらい「自分も社会の役に立っている」と参加者自身が実感でき、明日を生きるエネルギーが湧き、高齢者が自己肯定できるように目指す事業です。

2 事業の内容

(1) 事業の概要

- ① お手玉体操・コミュニケーションゲームなどで交流
- ② 「布芝居」づくり

絵本選びをし、著作権をとる。絵本を拡大模写し、布に写す（下絵書き）。

下絵に合わせて、アクリル絵の具で絵付けする。

絵が出来上がったら、1本の棒に縫い合わせる。

今年度の作品は、「おにぎりにはிரりたいやつよっといで」

- ③ 近隣の保育園・つどいの広場など6カ所に完成した「布芝居」と、手あそび・「布芝居」・コマ回し、皿回しなどを披露し、子どもたちと三世代・四世代交流をする。
(2月～3月)

回数 2019年6月～2020年2月 21回
 第2・第4水曜日 11:00～15:00

1日のタイムスケジュール

- 11:00～11:20 お手玉体操・コミュニケーションゲームなど
- 11:20～12:00 布芝居づくり
- 12:00～13:00 昼食交流会
- 13:00～15:00 布芝居づくり

布芝居作り



保育所 訪問交流



一緒に遊ぼう！
お手玉飛ばし



一緒におどろう！
パプリカダンス



子どもたちからお礼
メダルのプレゼント

(2) 連携・協力機関

近隣保育園・つどいの広場・高齢者サロンなど 6カ所

3 成果及び今後の課題

- ・6月～始めて、月2回、2月の布芝居披露・発表に間に合わせるために、コミュニケーションゲームなどの交流は少なめにし、布芝居づくりを中心にしました。
- ・参加者は色塗りに真剣に取り組み、完成したときの感動は格別でした。
- ・8月に近隣の小学生を対象にした「エコバッグの型染め」を行いました。指導者は日頃から絵付けをしているおじいちゃんおばあちゃんです。
- ・2月からの布芝居の披露は保育園やつどいの広場など6箇所を予定していましたが、新型コロナウイルス対策で残念ながら4箇所しか実施できませんでした。交流した保育園やつどいの広場などでの子どもたちとの交流は、感動的でした。小さなつぶらな瞳がこちらをじっとみつめてくれ、自分たちが作った布芝居を喜んでくれる子どもたちの姿を見て、満足感でいっぱい、自分たちも明日を生きていくエネルギーをもらいました。
- ・自分たちで絵本を拡大模写し、布芝居を作り上げ、完成したら地元の保育園やつどいの広場を訪問するやり方は、地域の三世代・四世代交流をすすめるのにとってもよい方法だと実感しました。

以下は活動を終えた参加者の感想です。

- ・私たちの訪問に瞳を輝かせて喜んでいる幼い子どもたちを見ていると、のらくら気ままに暮らしていた私も「少しばかり人様のお役に立てる」そんな気がしてきました。今は生きがいも感じて楽しく前向きに講座に通っています。
- ・MiKOねっとに入会して多くの皆様と知り合い、また、いろいろな体験ができました。特に絵を書いたり、幼稚園に行き子どもたちと遊んだり楽しい時間を過ごせたことなどは今までに経験したことの無いことばかりでした。今後も身体が続けば参加したいと思っています。
- ・マルシェの「生きがい講座」はとてもよい活動だと思います。老人の日々の張り合いになっています。布芝居の色ぬりはとてもむずかしいですが、楽しいです。いつの間にか画家になったような充実感があります。保育所やつどいの広場でのお子さんたちとの交流はとても元気をもらっています。
- ・小さいお子さまとのふれあいは、誠に楽しく、エネルギーをいっぱいいただきました。
- ・一年に1回の保育所訪問でしたが、さくら保育所の子どもや先生から手を振って、「MiKOねっとのおばあさん」と声を掛けて下さいました。子どもさんはちゃんとおぼえているのですね。とても嬉しく思いました。

既に、来年度も来て欲しいと認定こども園から依頼がありました。また、高齢者が集う場や介護予防サロンからも来て欲しいとのお話もいただきましたが（2箇所）、新型コロナウイルス対策で今年度は実現しませんでした。このように、徐々に地域の方々から認知され始めています。